



あと一步の向上に向けた取組

函館市立鱒川中学校

生活習慣・学習習慣の形成 基礎的・基本的な知識・技能の習得 望ましい学習態度の育成 学校組織・指導体制の改善

1 学力向上の具体的な方策

- ① 「家庭学習の手引き」による指導
- ② 定期テスト学習計画表の作成と指導
- ③ 教育相談を利用した学習指導と保護者懇談会
- ④ 補充学習・放課後学習・長期休業中の学習会の実施

2 取組の概要

- ①について
 - 「家庭学習の手引き」による学級指導を学期ごとに実施。
 - 国語、数学、英語は継続的に宿題を設定。社会、理科は随時。
- ②について
 - 個に応じて、テスト勉強すべき内容を厳選して提示（テスト範囲は全員共通）。学級担任、教科担任、保護者（国の子寮）の三者がテスト勉強の進行状況、学習内容のチェックを行い、必要に応じて個別指導。
 - テスト実施後、再テストまたはやり直し、テスト勉強の反省を実施。
- ③について
 - 教育相談は年2回、保護者懇談会は年4回実施し、生活・学習の両面にわたる課題を保護者と連携して指導。
 - 毎朝登校時にも、保護者から生活・学習面で課題がある生徒について報告を受け、学校でも随時指導。
- ④について
 - 隔週木曜日、数学の補充学習を実施。
 - 中3のみテスト前の放課後学習、長期休業中の学習会を実施。

3 成果（○）と課題（●）

- 少人数を生かした個別指導が実施できている。特に、生徒・保護者ともに勉強に対する意識が少しずつ高まっており、着実な学力向上が見られる。（中間層の得点向上、下位層の解答内容の質的良化）
- 保護者と学校が連携して指導にあたる強みが、随所に発揮されている。
- 家庭学習の定着については、宿題など教科担任の裁量に任されているため、教科間のバランスや量、強調週間や曜日ごとの課題設定など、学校全体としての取り組みをいかに進めるか、新年度までに検討する。
- より効果的な補充学習等の実施方法・内容を検討する。